わしょく わがし した えほん ばんがいへん 和食・和菓子に親しむ絵本 番外編

かずくんの小さなお話(短い小説)

かずくんと カタツムリさん

~ カタツムリの和菓子編 ~



こ つた わ しょくぶんか わしょく わ が し した えほん これは、「子どもに伝えたい和の食文化 ~和食・和菓子に親しむ絵本~」 だい だん なか かぜ の第2弾「かずくんとカタツムリのかたちをしたおかし」の中で、風邪をひいて しんぱい スーパー・トーカイ はなし しまったかずくんを心配するカタツムリやおばあちゃんのお話です。

かずくんとお母さんはスーパーマーケットでお買い物をすませ、お家に帰る途中です。今日は朝からずっと雨が 降っているので、傘をさして歩いています。

_{かあ} かずくん「あっ、お母さん!カタツムリさんがいるよ!」

かずくんはあじさいの上にいるカタツムリを見つけました。

Q.9

お母さん「雨が降っていてうれしそうだね」

かずくん「近くに行って見ていい?」

かずくんはカタツムリに近づきました。あじさいの

^は葉っぱの上をゆっくりと進んでいます。

かずくん「カタツムリさん、笑ってるみたい!」

かずくんも笑顔です。

^{かあ} お母さん「もうすぐおばあちゃんが来るから、そろそろ ^{かえ} 帰ろうね」

かずくん「はーい。カタツムリさん、またね」

かずくんはカタツムリに何度もバイバイしてから、

っち む お家に向かいました。

あそ はじ **遊び始めました。でも・・・**。

「ばっしゃーん!」

かずくんは足を滑らせ、水たまりにしりもちを

ついてしまいました。

かずくん「つめたーい」

かあ だいじょ<mark>うぶ はや うち か</mark>え お母さん「かずくん、大丈夫?早くお家に帰って

> からだ ふ あたた 体を拭いて温まりましょう」

さむ まも かずくんは寒い思いをしながらお家に帰りました。

カタツムリも、心配そうにかずくんを見ていました。

っち かえ ぬ からだ ふ お家に帰ってから、かずくんは、濡れた体を拭きました。

ふく き が あたた 服を着替えてストーブで温まりました。

すこ ゆう じゅんび **少しして夕ごはんの準備ができましたが**、

^{げんき} かずくんは元気がありません。

_{ねっで} 熱が出てしまったようです。

ゅう た あと くすり の かずくんは夕ごはんを食べた後、お薬を飲んで

^{ふとん}はい すぐにお布団に入りました。

ょうす まど そと その様子を窓の外からカタツムリが見ていました。

ひる お昼にかずくんが見ていたカタツムリです。

しんぱい ようす み き かずくんが心配で、ここまで様子を見に来たようです。

カタツムリさん「かずくん<mark>、大</mark>丈夫かな?早く良くなって

ばんき ほしいな。元気になって、またあじさいの

ところで会いたいね」

それからしばらくして、おば<mark>あちゃんもかずくんの様子を</mark> ^森見に来ました。 おばあちゃん「よく寝てるね。すぐに治るといいけど」

まくらもと おばあちゃんはかずくんの枕元にコップと飲み物を

ぉ 置きました。

おばあちゃん「ほかにもかずくんに何かしてあげられると

いいんだけれど・・・・」

カタツムリもおばあちゃんの言葉にうなずきながら、

かずくんを見ています。

おばあちゃん「あら、カタツムリさんがいるのね。

かずくんのお見舞いに来てくれたのかな?」

おばあちゃんはカタツムリにそう話しかけました。

おばあちゃん「そうだ、今からお見舞い用に和菓子を

作ろうか<mark>な。</mark>カタツムリさんがヒントを

くれたよ、ありがとう」

れいい

おばあちゃんはカタツムリにお礼を言って、

りビングに戻りました。

じかん 1時間ほどしておばあちゃんが戻ってきて、

まくらもと<mark>なに</mark> ぉ かずくんの枕元に何かを置きました。

おばあちゃん「カタツムリさんのかたちをした和菓子だよ。

かずくんが喜んでくれると思ってね」

カタツムリさん「僕がモデルさん?照れちゃうなぁ」

だいじょうぶ おばあちゃん「かずくんはもう大丈夫みたいだよ。

> き カタツムリさんも気をつけてに帰ってね」

> > · L

ゃさ はな おばあちゃんはカタツムリに優しく話しかけました。

あんしん じぶん うち かえ カタツムリは安心して自分のお家に帰りました。

よくあさ そして翌朝。

かずくん「お<mark>母さん、おばあちゃん、おはよう!」</mark>

かずくんはすっかり元気になりました。

かずくん「大きなカタツムリさんと楽しくお散歩する夢を

ヌ 見たんだよ。おばあ<mark>ちゃんが作って</mark>くれ<mark>た</mark>

ゎゕ゙し 和菓子のおかげかな?」 カタツムリがお見舞いに来てくれたことを聞いたかずくんは、カタツムリに会いに行きました。

にじ たいよう 虹と太陽とあじさいと、そしてカタツムリがとてもきれいでした。

~ おしまい ~

(絵本「かずくんとカタツムリのかたちをした おかし」16ページ目に続く)





農林水産省東海農政局 経営・事業支援部 食品企業課

